

# 盛岡市遺跡の学び館

## 平成 29 年度 館報



志波城まつり 2017 (勾玉作りと火おこし体験)

盛岡市遺跡の学び館

## はじめに

盛岡市は、旧石器時代から縄文時代、古代、中世と続く先人たちの暮らしが営まれてきましたが、近世からは南部氏盛岡藩の城下町として、また近代以降は岩手県の県都として、今日まで発展してきました。「杜と水の都」として知られる盛岡市は、北に岩手山や姫神山などの秀峰を望み、東西の清流を集めた北上川が南へ流れる「蔵風得水」の地（蔵ふうとくすい）に中心部があり、当館はその中でも緑豊かな市中央公園の一角に位置しています。

当館は埋蔵文化財発掘調査と出土資料の整理保管、併せて登録博物館として埋蔵文化財の教育普及活動を行う盛岡市教育委員会所管施設です。発掘調査成果は逐次、報告書として刊行しておりますが、本書では速報として平成29年度の概要をまとめております。

同年度の教育普及活動としましては、蝦夷と呼ばれた人々が活躍した時代に焦点を当てた企画展「志波城前夜」の蝦夷（エミシ）社会—9世紀初頭以前の盛南地区—を開催し、坂上田村麻呂が造営した志波城に隣接する盛南地区の大規模新市街地開発に伴う約20年間に及ぶ発掘調査の成果を多くの市内外の皆様に御覧頂きました。

また、テーマ展「土器と共に生きる」を開催し、縄文土器や縄・網代編みと現代の民俗資料や復元資料を交えながら展示したほか、来館者が実際に縄や網代を撚りストラップやコースターを製作することで縄文生活の一端に触れる機会を提供しました。

関連事業として、史跡めぐりや体験学習など、多様な事業も実施してきましたが、市民の皆様のニーズに十分お応えできたか顧みながら、今後もより一層内容の充実に職員一同励んで参りたいと存じます。

今後とも関係各位の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年3月

盛岡市遺跡の学び館  
館長 杉本 浩

## 例 言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の平成 29 年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 Ⅲ-3 の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、平成 29 年度に当館が行った発掘調査の概略をまとめたものである。その多くは現在資料整理中であり、正報告書は別途刊行予定である。
- 4 本書に使用した地図は、国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図「矢幅」「盛岡」「小岩井農場」「鷹高」「外山」「洪民」及び「盛岡市広域都市計画図」(平成 12 年)を使用した。
- 5 発掘調査に伴う記録類や出土遺物等は、当館で保管している。

## 目 次

はじめに

例言・目次	1
<b>I 施設概要</b>	
1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業	2
2 事業経過	2
3 建設事業費等	2
4 施設概要	2
<b>II 職員体制</b>	3
<b>III 事業概要</b>	
1 管理運営	4
2 学芸事業	5
3 埋蔵文化財発掘調査	14
報告書抄録	

# I 施設概要

## 1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公団(当時))を開始し、総合計画との関連および予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を打診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

## 2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定、展示構想策定業務、地質調査
平成14年度	建築実施設計、展示施設計画、建築工事・土木工事
平成15年度	建築工事・土木工事 展示施設製作業務委託、盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定 施設の名称を「盛岡市遺跡の学び館」とする
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
平成30年3月末	開館以来の施設総利用者数 165,004人

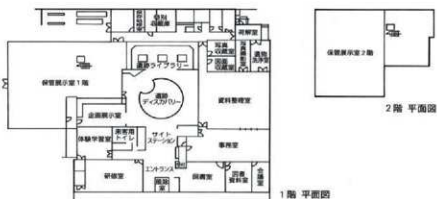
## 3 建設事業費等

・建設事業費 677,123千円(国庫補助210,000千円・県補助105,000千円)

総事業費	677,755 千円	建築設計	株式会社三衛設計舎
建築設計委託	24,985	展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築工事費	455,490	建築主体工事	株式会社阿部正工務店
土木工事費	43,543	敷地造成工事	有限会社東北農林建設
展示計画策定業務委託	8,820	電気設備工事	新興電機株式会社
展示施設製作業務委託	91,308	給排水設備工事	有限会社門坂工業
備品購入費	44,700	機械設備工事	中央水道土木株式会社
その他	6,909	地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
		敷地植栽工事	株式会社やまいわ
		簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

## 4 施設概要

施設の名称と位置	名称	盛岡市遺跡の学び館		設置	平成16年3月31日
	住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1		開館	平成16年6月1日
施設の概要	構造	鉄筋コンクリート、一部鉄骨造平層(一部重層)			
	敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡	延床面積
室名と面積	展示部門	常設展示室(450.8㎡)、企画展示室(81.4㎡)、展示器材室			
	教育普及部門	研修室(117.0㎡)、図書資料室(47.7㎡)、図書室(66.3㎡)、体験学習室(70.9㎡)、研修器材室、学習器材室等			
	収蔵部門	保管展示室(897.3㎡・1階517.8㎡・2階379.5㎡)、特別収蔵室(46.5㎡) 写真収蔵室(27.2㎡)、図画収蔵室(27.2㎡)			
	調査整理部門	資料整理室(237.2㎡)、遺物洗浄室(37.1㎡)、写真撮影室(28.8㎡)、保存処理室(14.7㎡)			
	管理部門	会議室(30.8㎡)、事務室(157.7㎡)、荷解室(24.5㎡)、休憩室(12.7㎡)			



館内平面図及び外観・展示室写真

【收藏資料】(平成 29 年度末現在)

資料区分	細区分	内 容	点 数
考古資料	H29 年度発掘調査分	・史跡盛岡城跡・西鹿渡遺跡・細谷地遺跡・山陰焼窯跡 ほか	小コンテナ 70 箱
	調査資料 今までの 展示資料含む	・土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・鏡・古銭・金属器・木製品・瓦・装身具・小判・経石等	約 5,400 点
	破片等コンテナ取 納資料	・プラスチックコンテナ取納(土器・石器破片, 自然遺物含む) ※コンテナ 503 × 700 × 397mm, 小コンテナ 387 × 586 × 142mm	大 300 箱 小 15,857 箱
寄贈 寄託	個人コレクション	・古澤典夫氏ほか寄贈考古資料 ・一本松経塚・安倍館遺跡出土遺物ほか	8,521 点 2 点
標本等	模型・レプリカ	・模型・レプリカ・土壌サンプル等	—
調査 記録 資料	図面	・図面(原図・第 2 原図・遺物実測図等)	約 4,400 枚
	写真	・写真(モノクロ・カラーネガ:35mm, 6 × 7, 4 × 5) ・カラースライド(35mm, 6 × 7) ・デジタル画像(700MB:CD・DVD)	約 130,000 コマ 約 44,000 コマ 約 440 枚

## II 職員体制

館 長(兼) 杉本 浩

館長補佐(兼) 多田 秀明

〔管理・学芸班〕

(主任 1 非常勤 3)

主任(兼) 川村 忠  
文化財調査員(非常勤) 日野村 潤子  
学芸調査員(非常勤) 樋下 理沙  
学芸調査員(非常勤) 坂本 志野

〔調査班〕

(文化財副主幹 2 主査 4 主事 1 非常勤 2)

文化財副主幹(兼) 室野 秀文  
文化財副主幹(兼) 菊地 幸裕  
文化財主査(兼) 津嶋 知弘  
文化財主査(兼) 神原 謙一郎  
文化財主査(兼) 花井 正香  
文化財主査(兼) 佐々木 亮二  
文化財主事(兼) 鈴木 俊輝  
文化財調査員(非常勤) 及川 栗里  
文化財調査員(非常勤) 今松 佑太

### Ⅲ 事業概要

#### 1 管理運営

##### 【盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会】

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用と遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置。遺跡の学び館の開館を機に、当館の企画運営についての指導もいただいている。

○【日 時】平成29年5月16日(火) 13:30～15:00

【会 場】当館 研修室

【出席者】熊谷常正 委員長、阿部真一・落合昭彦・菅野文夫・

金野万里・佐藤由紀男・瀬川君雄 委員

【議 事】報告・入館者等利用状況について

審議・平成29年度遺跡の学び館事業計画(案)について



遺跡ネットワーク整備委員会

##### 【年間事業費】(平成29年度決算額)

事業名	事業費(決算額)	事業内容
管理運営事業	13,927,877円	・臨時職員賃金、施設設備の維持管理経費等
学芸事業	3,900,575円 (うち国補助1,262,000円, 教育振興基金繰入金285,000円)	・テーマ展、企画展、調査資料展、体験学習会、普及資料の作成、取蔵資料データシステム等
盛岡遺跡群発掘調査事業	2,894,709円 (うち国補助1,424,000円, 県補助330,000円)	・個人住宅建築に係る事前の発掘調査及び資料整理
埋蔵文化財調査事業	1,108,968円	・公共事業に伴う事前調査
埋蔵文化財確認調査事業	780,290円	・個人住宅建築及び宅地造成等、民間開発に係る試掘確認調査
計	22,612,419円	

##### 【入館者統計】開館以降の入館者等利用状況(平成16年6月～平成30年3月)

(単位:人)

	有料入館者						減免利用者			展示室 利用者数	展示室以 外の利用 者数	総計	
	個人			団体			計	一般	小・中				計
	一般	小・中	小計	一般	小・中	小計							
H16	2,837	923	3,760	792	422	1,214	4,974	5,316	610	5,926	10,900	1,896	12,796
H17	2,298	1,475	3,773	582	372	954	4,727	2,064	597	2,661	7,388	2,800	10,188
H18	2,024	1,557	3,581	259	798	1,057	4,638	1,575	1,098	2,673	7,311	5,244	12,555
H19	1,932	1,710	3,642	413	851	1,264	4,906	1,660	1,102	2,762	7,668	5,290	12,958
H20	2,157	2,218	4,375	473	804	1,277	5,652	1,859	982	2,841	8,493	6,263	14,756
H21	2,144	2,158	4,302	375	525	900	5,202	1,284	568	1,852	7,054	5,450	12,504
H22	2,012	1,594	3,606	228	268	496	4,102	1,114	411	1,525	5,627	3,624	9,251
H23	1,753	1,644	3,397	709	1,874	2,583	5,980	1,007	690	1,697	7,677	5,156	12,833
H24	2,347	1,471	3,818	427	1,218	1,645	5,463	2,031	610	2,641	8,104	4,959	13,063
H25	1,942	1,640	3,582	630	340	970	4,552	1,641	521	2,162	6,714	3,877	10,591
H26	2,109	1,513	3,622	328	273	601	4,223	1,691	972	2,663	6,886	4,537	11,423
H27	2,305	1,294	3,599	409	224	633	4,232	1,645	545	2,190	6,422	3,641	10,063
H28	2,204	1,129	3,333	527	198	725	4,058	1,755	394	2,149	6,207	4,184	10,391
H29	2,187	633	2,820	863	322	1,185	4,005	1,842	682	2,524	6,529	5,103	11,632
計	30,251	20,959	51,210	7,015	8,489	15,504	66,714	26,484	9,782	36,266	102,980	62,024	165,004

## 2 学芸事業

当館主催の学芸事業として、企画展示室においてテーマ展、企画展、平成29年度調査資料展を開催したほか、市民参加による体験学習会を年間を通じて全6回開催し、またゴールデンウィーク・夏休み・冬休み期間中には個人を対象とした体験学習会などを開催した。また発掘調査現地での説明会の実施、普及資料の発行、さらに出前講座、博物館実習をはじめ、各種実習・研修・行政視察等の受入を行った。

### (1) 展示公開・普及活動

#### 【展示会】

タイトル等	テーマ展「土器と共に生きる —土器からよむ縄文人の手仕事—」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成29年6月3日(土)～平成29年9月24日(日)	来場者数	2,465名
展示構成	(盛岡の縄文時代遺跡)パネル展示 (縄文時代の土器)生活の使用痕を残す土器の展示 (現代の民具と縄文土器)民具と縄文土器の比較 (土器に残された縄文人の手仕事)縄文原体が明瞭な土器破片と使用された「縄」を復元し、並立させて展示	展示資料数	115点
概要	土器の用途や土器製作で使用した縄・網代編みから土器・石器以外の生活道具を、民俗資料や復元資料を交えながら展示解説した。併せて、来館者が実際に縄や網代を撚り、ストラップやコースターを製作することで、縄文生活の一端に触れる機会を提供した。		
作成資料	ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第15回企画展「志波城前夜」の蝦夷(エミシ)社会 —9世紀初頭以前の盛南地区—	会場	当館企画展示室
開催期間	平成29年10月7日(土)～平成30年1月21日(日)	来場者数	1,772名
展示構成	〔辺境民とされた蝦夷(エミシ)〕〔文献に見る律令政府と「志波村」〕〔「志波村」北部の古代集落〕〔坂上田村麻呂と城柵の造営〕	展示資料数	359点
概要	盛南地区の土地区画整理事業に伴う約20年間に及ぶ発掘調査の結果、特に7世紀後半から10世紀の古代集落10ヶ所が調査され、貴重な成果となった。展示では、律令政府の最前線として、盛南地区の西隣に坂上田村麻呂が9世紀初頭に志波城を造営するまで、つまり蝦夷と呼ばれた人々が活躍した時代の盛南地区に焦点を当て、現代に生きる我々東北人が知るべき先人たちの暮らしや社会を紹介・解説した。		
作成資料	展示図録・ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第35回埋蔵文化財調査資料展 「盛岡を発掘する—平成29年度調査速報—」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成30年2月3日(土)～平成30年5月20日(日)	来場者数	2,079名
展示遺跡	史跡盛岡城跡、台太郎遺跡、下永林遺跡、細谷地遺跡、西鹿波遺跡、大谷地遺跡、岩洞湖E遺跡、向中野堀遺跡、山陰焚窯跡	展示資料数	247点
概要	平成29年度に市内で発掘された遺跡の概要について、出土遺物・写真・解説パネル等で展示・公開。		
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		



テーマ展 土器と共に生きる



企画展「志波城前夜」の蝦夷社会



第35回埋蔵文化財調査資料展

**【講演会】(企画展関連事業)**

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成 29 年 11 月 12 日(日) 13:30～15:30	特別講演会 「古代東北の蝦夷(エミシ)と律令国家ー7・8世紀を中心にー」 岩手大学平泉文化研究センター客員教授 八木 光則 氏	72名

**【学芸講座】**

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成 29 年 6 月 25 日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅰ「考古学入門」 当館 佐々木 亮二 文化財主査	15名
平成 29 年 8 月 27 日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅱ「ガラス小玉の考古学 ー「西のガラス」と「アジアのガラス」ー」 当館 花井 正香 文化財主査	32名
平成 29 年 10 月 22 日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅲ「“志波村”の古代集落ー盛南地区の7・8世紀ー」 当館 津嶋 知弘 文化財主査	21名

**【ミニ展示】**

サイトステーション内にミニ展示コーナー「みっけギャラリー」を設け、3～4ヶ月ごとにテーマを決めて展示した。

平成 29 年度は、石器や土偶をテーマとした展示を行ったほか、八幡平市在住の画家・高橋憲一氏の土偶点描画及びレプリカ土偶の展示も行った。

**(2) 参加型体験活動****【体験学習会】**

開催日	タイトル・講師	参加者
平成 29 年 6 月 4 日(日) 9:30～12:00	「縄文土器をつくろう！」(親子) 対応:当館職員・サポーターズクラブ	15名
平成 29 年 6 月 18 日(日) 7 月 23 日(日) 9:30～12:00	「やきもの教室」(制作と軸葉掛け 2回) 講師:平 知道 氏 補助:当館職員・サポーターズクラブ	11名
平成 29 年 9 月 3 日(日) 13:30～15:30	「考古学者になってみよう! 遺跡発掘体験」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	31名
平成 29 年 10 月 1 日(日) 9:00～12:00	「もりおか史跡・遺跡めぐり “盛岡の遺跡を見に行こう!”」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	20名
平成 29 年 12 月 10 日(日) 9:30～16:00	「カゴ作り教室」(2回) 対応:当館職員・サポーターズクラブ	40名
平成 30 年 2 月 18 日(日) 9:30～12:00	「つるを編んでみよう!」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	12名





縄文土器をつくろう！



考古者になってみよう！ 遺跡発掘体験



カゴ作り教室

### 【古代体験ひろば】

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
ゴールデンウィーク！ 古代体験ひろば	平成 29 年 4 月 29 日 (土) ～ 5 月 7 日 (日) 9 日間	午前の部 10:00～11:30 午後の部 13:00～14:30 メニュー：勾玉作り・土玉彩色・古代風ストラップ・土偶ストラップ(有料)	勾玉作り 79 名、土玉彩色 60 名、古代風ストラップ 59 名、火おこし 301 名、まなびのひろば 4 名 (のべ 503 名)
夏休み！ 古代体験ひろば	平成 29 年 7 月 29 日 (土) ～ 8 月 6 日 (日) 8 日間	メニュー：勾玉作り・土玉彩色・古代風ストラップ・土偶ストラップ(有料)・火おこし・まなびのひろば(無料)	勾玉作り 47 名、土玉彩色 40 名、古代風ストラップ 51 名、土偶ストラップ 31 名、火おこし 249 名、まなびのひろば 8 名 (のべ 426 名)
冬休み！ 古代体験ひろば	平成 30 年 1 月 4 日 (木) ～ 1 月 8 日 (月) 5 日間		勾玉作り 32 名、土玉彩色 19 名、古代風ストラップ 34 名、土偶ストラップ 35 名、火おこし 154 名、まなびのひろば 14 名 (のべ 288 名)



ゴールデンウィーク！ 古代体験ひろば



夏休み！ 古代体験ひろば (土玉彩色)



冬休み！ 古代体験ひろば (勾玉作り)

### 【縄文ふれあい DAY】

盛岡市内の小・中学校に通学している児童・生徒 5 名以上の場合に入館料が減額になる、毎月第 2 土曜日を「縄文ふれあい DAY」とし、土玉彩色・古代風ストラップ作り・拓本とり・古代のお守りネックレス作りなどの体験学習を実施した。

### (3) ボランティア活動や地域連携活動

#### 【盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク】

「盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク」(略称もりとびあねっと)は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館 6 施設(岩手県立美術館・原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園)で構成されたネットワークで、平成 19 年度に設立。施設間及び地元本宮地域協働協議会「ゆいネット盛南」等との連携により、共同テーマによるイベント・展示会

の開催を行い、利用者が美術・歴史・科学・先人(人物)などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図った。

催事のタイトル	開催期間(日)	内 容	参加・聴講者数
本宮ゆいっこまつり	平成29年6月3日(土)	本宮地域協働協議会「ゆいネット盛南」主催。中央公園イベント広場を会場とし、当館は縄文ストラップ作りで参加。	参加 5名
夏休み☆もりとびあスタンプラリー	平成29年7月8日(土)～8月31日(木)	施設PRとして、「もりとびあねっとだより」を台紙に活用し、6施設全ての押印で記念品贈呈。	記念品交換者数 48名
志波城まつり	平成29年9月24日(日)	志波城まつり実行委員会主催。志波城古代公園を会場とし、当館は火おこし・勾玉作りで参加。	参加 550名
もりとびあねっとまつり2017	平成29年11月25日(土) 13:00～15:30	もりとびあねっと全館共同イベント。当館は勾玉とビーズを組み合わせたネックレス作りで参加。	参加 79名
もりとびあねっとイベント 勾玉ネックレスづくりと盛南地区発掘調査パネル展	平成30年2月25日(日) 13:00～16:00	イオン盛岡南SCを会場として、粘土に彩色して作った土玉とビーズを組み合わせたネックレス・プレスレット作り及びパネル展。	参加 184名

#### 【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体の「サポーターズクラブ」が発足して12年目を迎えた。本年度は新たに3名が入会し、会員数14名での活動となった。当館行事の春・夏・冬の「古代体験ひろば」(個人の体験学習)をはじめ、史跡めぐり・やきもの教室・野焼きをはじめ各種の体験教室、館外の大規模SCでのもりとびあねっとPR活動なども含め、精力的に活動に参加され、支援していただいた。

また自主活動として、他館の展示方法・工夫などの修得及び会員の親睦を図るために研修旅行(期日:平成29年10月8日(日)、研修先:宮城県七ヶ浜町資料館)を企画し、10名が参加された。



ゆいっこまつり(縄文ストラップ作り)



もりとびあねっとイベント  
勾玉ネックレスづくり



サポーターズクラブ研修旅行

#### (4) 研修・実習活動

##### 【研修・実習受入】

開催日	内 容	依頼団体	参加者
平成 29 年 7 月 4 日 (火) ～ 7 月 5 日 (水)	職場体験学習	滝沢市立滝沢第二中学校 2 年生	6 名
平成 29 年 8 月 18 日 (金) ～ 8 月 25 日 (金)	博物館実習	岩手大学 2 名, 盛岡大学 3 名	5 名
平成 29 年 8 月 7 日 (月) ～ 8 月 11 日 (金)	インターンシップ研修	山形大学 3 年生	1 名
平成 29 年 8 月 22 日 (火) ～ 8 月 24 日 (木)		岩手県立大学 3 年生	1 名



職場体験学習



博物館実習



博物館実習

#### (5) 出前講座・講師派遣活動

##### 【出前講座】

開催日	内 容	講 師	依頼団体 (会場)	参加者
平成 29 年 6 月 17 日 (土)	中央公民館歴史講座 「盛岡のやきもの物語—山陰 焼と花古焼—」	神原 雄一郎 文化財主査	盛岡市中央公民館	13 名
平成 29 年 6 月 22 日 (木)	学びの循環推進事業 「盛岡古道を歩くⅢ 厨川地 区遺跡を探る会」	神原 雄一郎 文化財主査	Polepole (ポレポレ) 会	12 名
平成 29 年 7 月 21 日 (金)	「堺石川以北の遺跡につい て」	佐々木 亮二 文化財主査	厨川地区老人大学校 土淵分校 (土淵地区 活動センター)	12 名
平成 29 年 8 月 18 日 (金)	「繫地区の遺跡について」	佐々木 亮二 文化財主査	繫地区老人大学 (繫 地区活動センター)	23 名
平成 29 年 9 月 2 日 (土)	わくわくチャレンジふれあ いの日 (講話・発掘体験)	佐々木 亮二 文化財主査	手代森小学校	60 名
平成 29 年 9 月 19 日 (火)	学びの循環推進事業 「盛岡古道を歩くⅣ 野田街 道と周辺の遺跡を探る会」	神原 雄一郎 文化財主査	Polepole (ポレポレ) 会	12 名
平成 29 年 9 月 21 日 (木)	学びの循環推進事業 「盛岡古道を歩くⅣ 野田街 道と周辺の遺跡を探る会」	神原 雄一郎 文化財主査	Polepole (ポレポレ) 会	12 名
平成 29 年 9 月 30 日 (木)	縄文土器の宝庫・松園を訪 ねる講座① 「盛岡の縄文遺跡」	神原 雄一郎 文化財主査	松園地区公民館	11 名

開催日	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
平成29年10月21日(土)	縄文土器の宝庫・松岡を訪ねる講座② 「松岡周辺の縄文遺跡」	神原 雄一郎 文化財主査	松岡地区公民館	12名
平成29年11月11日(土)	縄文土器の宝庫・松岡を訪ねる講座③「勾玉作り」	神原 雄一郎 文化財主査	松岡地区公民館	21名
平成29年11月17日(金)	地元学講座 「岩洞湖周辺の遺跡と野田街道」	神原 雄一郎 文化財主査	葦川地区公民館	16名
平成30年2月14日(水)	「盛岡を発掘する ー平成29年度調査概要ー」	花井 正香 文化財主査	不来方ライオンズクラブ	25名

#### 【講師派遣】

開催日	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
平成29年9月30日(土)	平成29年度後期いわて学Ⅱ 『もりおか学』「古代の盛岡」	津嶋 知弘 文化財主査	いわて高等教育コンソーシアム	49名
平成29年11月16日(木)	「志波村の古代集落」	津嶋 知弘 文化財主査	岩手県高等学校教育研究会地歴公民部会中央支部	20名
平成29年12月23日(土)	公民館歴史講座 「城柵と蝦夷社会」	津嶋 知弘 文化財主査	矢巾町西徳田1区公民館	10名
平成30年3月8日(木)	文化サロン 「岩手・斯波の中世城館」	室野 秀文 文化財副主幹	NPO法人いわてシニアネット	51名

#### (6) 職員研修活動

##### 【専門研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催(会場)
平成29年7月10日(月) ～7月14日(金)	平成29年度文化財担当専門 者研修「出土品管理・活用 課程」	樋下 理沙 学芸調査員	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所

##### 【関連会議等出席】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場・視察先
平成29年6月1日(木) ～6月2日(金)	平成29年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	多田 秀明 館長補佐	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会(静岡県静岡市)
平成29年7月27日(木)	平成29年度岩手県博物館等連絡協議会総会	多田 秀明 館長補佐	岩手県博物館等連絡協議会(岩手県立博物館)
平成29年10月5日(木) ～10月6日(金)	平成29年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会北海道・東北ブロック会議	杉本 浩 館長 多田 秀明 館長補佐 ほか	盛岡市遺跡の学び館 もりおか歴史文化館 ほか

## (7) 発掘調査成果の公開及び刊行活動

## 【現地説明会・公開と調査成果報告会】

開催日時	遺跡名(所在地)	見学者・参加者
平成 29 年 9 月 30 日(土) 13:30～15:00	史跡盛岡城跡第 37 次発掘調査現地説明会	60 名
平成 30 年 3 月 4 日(日) 13:30～15:00	第 35 回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘するー平成 29 年度調査速報ー」関連事業「平成 29 年度調査成果報告会」	39 名

## 【埋蔵文化財調査報告書の刊行】

件名	発行日	部数	販売の有無
「台太郎遺跡ー賃貸住宅建設に伴う緊急発掘調査報告書ー」	平成 29 年 6 月 30 日	150 部	公的機関に 配布予定
「盛南地区遺跡群発掘調査報告書 Xー道明地区土地区画整理事業関連遺跡 平成 20～26 年度発掘調査ー」	平成 30 年 3 月 12 日	300 部	
「小山遺跡ー介護福祉施設建設に伴う緊急発掘調査報告書ー」	発行 瀧野 常實 平成 30 年 3 月 15 日	150 部	
「志波城跡ー平成 26～29 年度発掘調査報告書ー」	平成 30 年 3 月 23 日	150 部	
「西鹿波遺跡ー M Stage 三本柳宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書ー」	発行 廣瀬 忠夫 平成 30 年 3 月 25 日	150 部	
「岩洞湖遺跡群ー市道一の渡岩洞湖線改良工事に伴う緊急発掘調査報告書ー」	平成 30 年 3 月 26 日	300 部	
「大谷地遺跡ー市道二子沢線改良工事に伴う緊急発掘調査報告書ー」	平成 30 年 3 月 28 日	300 部	
「平成 26 年度・27 年度盛岡市内遺跡群 赤袋遺跡ー第 3 次・第 4 次発掘調査報告書ー」	平成 30 年 3 月 28 日	300 部	

## 【芸芸関連刊行物】

件名	発行日	部数	販売価格等
【展示図録】 遺跡の学び館第 15 回企画展「志波城前夜」の蝦夷(エミシ)社会ー9 世紀初頭以前の盛南地区ー」	平成 29 年 10 月 7 日	300 部	600 円
「盛岡市遺跡の学び館 平成 28 年度館報」	平成 30 年 3 月 25 日	350 部	公的機関に 配布予定
「遺跡の学び館 特報」	平成 30 年 3 月	500 部	無料配布



盛岡市内遺跡群 発掘調査報告書



盛南地区遺跡群 発掘調査報告書



第15回企画展 展示図録

(8) 他市町村への埋蔵文化財担当職員の派遣及び現地指導

派遣先・依頼機関	職務内容	人数	派遣期間
三戸町教育委員会	三戸城跡保存整備検討委員会	1名	平成29年7月11日(火) 平成29年11月10日(金)
北上市	北上市史編纂に係る城郭調査の意見交換	1名	平成29年7月24日(水)
花巻市教育委員会	花巻城跡調査保存検討委員会	1名	平成30年1月18日(木)

(9) 図書整備活動

【寄贈図書及び購入図書】

形態	分野	内容	寄贈・購入冊数		計
			平成28年度末	平成29年度増加分	
発掘調査報告書			18,321	678	18,999
一般図書	考古学	概説書など	273	25	298
	歴史学	日本史・郷土史など	185	3	188
	民俗学	民具・民俗芸能など	19	2	21
	美術工芸	絵画・彫刻・建造物など	32	5	37
	自然科学	動植物など	6	0	6
	文化財保護	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	53	0	53
	博物館学	博物館概論・開館記念誌など	3	0	3
その他	辞典・事典など	48	1	49	
資料集	図録・解説書・パンフ・レジュメなど	2,021	256	2,277	
全集	3冊以上	471	6	477	
論集	論文集など	54	0	54	
通史	市町村史	270	3	273	
逐次刊行物	雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など	4,592	197	4,789	
計			26,348	1,176	27,524

全国各地の公立及び公益法人の埋蔵文化財センター及び博物館施設等と遺跡発掘調査報告書や遺跡関係書籍及び展示図録・歴史関連書籍や論文、一般刊行物、各種パンフレットなどを主体に図書の交換を行い、保管収集に努めている。これらの蔵書は図書室の開架棚で来館者が自由に閲覧できるものと、図書資料室に収蔵のうえ、受付に申し出て閲覧できる図書に区分している。

### 3 埋蔵文化財発掘調査

平成29年度に当館は、本発掘調査10件、試掘調査19件、合計29件の調査を行った。本調査件数は前年度より減少したが、総件数は前年度より増加している。原因別の内訳は、史跡保存整備事業に伴う事前調査が1件、大規模区画整理事業に係る本調査2件、市道改良等の公共事業に係る本調査3件・試掘調査2件、民間開発関連では、個人専用住宅建築等に係る本調査2件・試掘調査6件、共同住宅建築等に係る本調査1件・試掘調査8件、宅地造成に係る本調査1件・試掘調査1件、介護施設等の建築に係る試掘調査2件である。総面積は13,652㎡で、前年度比102.4%となっている。

調査地の地域的分布は、旧市街地区が3地点、太田・向中野地区が9地点、飯岡地区が8地点、厨川地区が5地点、上田地区が1地点、築川地区が1地点、玉山地区が2地点となっている。

本報告では、遺構及び遺物が検出された調査を主体に記述し、その他については一覧表での記載のみに留めた。

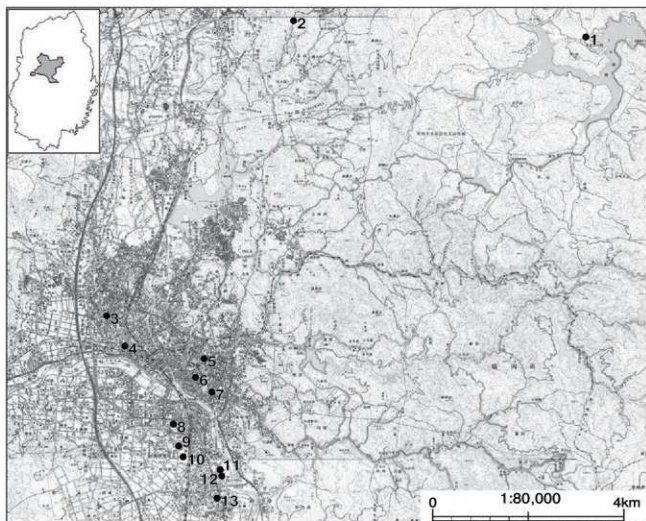
【平成29年度埋蔵文化財発掘調査（本調査・試掘調査）一覧】

区分	No	遺跡名	次数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
本 調 査	1	盛岡城跡	37 ・ 38	内丸57-1地内	史跡保存整備 の事前調査	7月25日～ 12月20日	471	三ノ丸石垣天端石・栗石・盛土・ 根石・根固石、台所門枳形石垣・ 土橋・土塁 藩政期の瓦、陶磁器 コンテナ 約30箱
	2	台太郎遺跡	90	向中野二丁目3-7	賃貸住宅建築	4月10日～ 4月21日	33	平安時代の竪穴建物跡1棟 平安時代の土師器・須恵器・あ かやき土器 コンテナ約1箱
	3	西鹿渡遺跡	32	三本柳2地割 33-2	宅地造成	5月15日～ 7月28日	1,624	奈良・平安時代の竪穴建物跡8 棟 奈良・平安時代の土師器・須恵 器・あかやき土器 コンテナ約 6箱
	4	細谷地遺跡	37	向中野字細谷地 21-1外	土地区画整理 事業	5月29日～ 8月31日・ 11月22日～ 12月20日	4,692	縄文時代の陥し穴状土坑8基、 古代の溝跡1条、古代以降の 土坑2基、溝跡6条 古代の土師器・須恵器・あかや き土器・鉄製品、近世の古銭、 近代以降の陶磁器・ガラス瓶 コンテナ約15箱
	5	岩洞湖E遺跡	2	葭川字亀橋	市道改良工事	6月27日・ 7月18日～ 7月20日・ 8月2日	108	近世の溝跡1条
	6	赤袋遺跡	5	西青山一丁目21	個人住宅建築	6月28日	94	時期不詳の土坑3基
	7	下永林遺跡	4	津志田14地割 1-6外	土地区画整理 事業	9月1日～ 11月24日	1,196	縄文時代の土坑1基、奈良・ 平安時代の円形周溝9基、古 代の土坑2基、古代以降の溝 跡1条 奈良・平安時代の土師器・須恵 器・あかやき土器・鉄製品・ガ ラス小玉 コンテナ約5箱



区分	No	遺跡名	次数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
本 調 査	8	大谷地遺跡	2	玉山字大二子	市道改良工事	10月3日～ 11月7日	218	縄文時代の陥し穴状土坑1基、 土坑1基、遺物包含層 縄文時代の土器・石器 コンテ ナ約3箱
	9	向中野幅遺跡	2	向中野幅	学校給食セン ター建設	11月1日～ 11月30日	744	近・現代の堤跡 縄文時代早期の土器片・石器、 近世の陶磁器片
	10	志波城跡	112	中太田吉原 51-4	浄化槽・水道 管設置	12月1日・ 12月11日	16	遺構・遺物 なし
試 掘 調 査	11	館遺跡	22	土太田館 65-3の 一部	個人住宅建築	4月7日	22	遺構・遺物 なし
	12	西鹿渡遺跡	31	三本柳2地割 26.3の一部外	宅地造成	4月11日	240	古代の竪穴建物跡1棟、溝跡1 条 古代の土師器片1点 (現状保存措置)
	13	向中野幅遺跡	1	向中野幅	学校給食セン ター建設	4月19日～ 4月28日	819	縄文時代早期の土坑2基、平 安時代以降の竪穴建物跡1棟、 溝跡1条、時期不明の溝跡1条、 江戸時代以降の堤跡 縄文時代早期の土器片、近世の 陶磁器片
	14	里館遺跡	62	北天昌寺町 13-1 の一部	共同住宅建築	5月26日	83	中世～近世の竪穴建物跡6棟、 土坑5基、溝跡2条、カマド 状遺構1基 (現状保存措置)
	15	台太郎遺跡	91	向中野一丁目 18- 11	長屋住宅建築	6月30日	35	古代以降の溝跡1条 古代の須恵器・土師器片 (現状保存措置)
	16	盛岡城遠曲輪跡	18	本町通二丁目 425-5・6	個人住宅建築	7月7日	18	近世の堀跡1条 (現状保存措置)
	17	山陰焼窯跡	2	茶畑一丁目 2-12	介護施設建設	7月12日～ 7月14日	28	室町時代の大溝跡1条、江戸 時代の焼窯1基 江戸時代の陶磁器・窯道具 コ ンテナ約10箱
	18	盛岡城遠曲輪跡	19	本町通一丁目 410-1の一部	共同住宅建築	7月19日	61	近世の堀跡1条 近世の国産青磁片 (現状保存措置)
	19	百目木遺跡	35	三本柳5地割 8-1	長屋住宅建築	8月4日	35	遺構・遺物 なし
	20	里館遺跡	63	天昌寺町 242-5・ 32、245-1・6 の各一部	保育所建設	9月6日～ 9月7日	218	中世～近世の竪穴建物跡11 棟、堀跡1条 近世の陶磁器片 (H30年度本調査)
	21	西鹿渡遺跡	33	三本柳2地割 37-2	長屋住宅建築	10月11日	104	遺構・遺物 なし
22	西鹿渡遺跡	34	三本柳2地割 29-2	個人住宅建築	11月21日	20	遺構 なし 古代の土師器片	
23	向中野幅遺跡	3	向中野幅	産業等用地整 備事業	11月21日～ 12月6日	2,568	平安時代以降の溝跡24条 近世の陶磁器片 (H30年度本調査)	

区分	No	遺跡名	回数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
試掘調査	24	大新町遺跡	83	大新町 13-18	個人住宅建築	12月6日	27	縄文時代の土坑6基, 遺物包含層
	25	上畑遺跡	12	西見前 11 地割 65-1	共同住宅建築	12月14日	98	奈良・平安時代の竪穴建物跡7棟, 溝跡1条
	26	右京長根遺跡	3	緑ヶ丘一丁目 64-1-2	戸建住宅建築	12月15日	9	遺構・遺物 なし
	27	石仏遺跡	10	上鹿妻田貝 4-3, 12	建売住宅建築	12月21日	35	遺構・遺物 なし
	28	三百刈田遺跡	3	西見前 19 地割 44-25	個人住宅建築	3月19日	15	遺構・遺物 なし
	29	小屋塚遺跡	43	大新町 168-7	個人住宅建築	3月20日	21	遺構・遺物 なし
総面積							13,652	



1	岩河湖E遺跡 (第2次)	2	大谷地遺跡 (第2次)	3	赤裳遺跡 (第3次)
4	里館遺跡 (第62次)	5	盛岡城遠曲輪跡 (第19次)	6	盛岡城跡 (第37・38次)
7	山陰焼窯跡 (第2次)	8	台太郎遺跡 (第90次)	9	細谷地遺跡 (第37次)
10	向中野幅遺跡 (第2次)	11	西鹿渡遺跡 (第31次)	12	西鹿渡遺跡 (第32次)
13	下永林遺跡 (第4次)				

平成29年度調査遺跡 位置図

## ○史跡整備に伴う事前調査

### (1) 国指定史跡 盛岡城跡 第37・38次調査

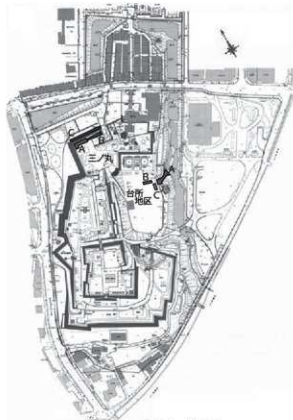
- |        |  |        |                   |
|--------|--|--------|-------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市内丸57-1地内                                    | 2 調査原因 | 史跡保存整備事業に伴う事前調査   |
| 3 調査方法 | トレンチによる内容確認調査                                  | 4 調査期間 | 平成29年7月25日～12月20日 |
| 5 調査面積 | 471㎡   | 6 調査員  | 佐々木 亮二・今松 佑太      |
| 7 検出遺構 | 三ノ丸石垣天端石・栗石・盛土・根石・根固石・根石据方<br>台所門枳形石垣・栗石、土塁、土橋 |        |                   |
| 8 出土遺物 | 藩政期の軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦、陶磁器 コンテナ約30箱                 |        |                   |

9 調査概要 史跡盛岡城跡は、市街地中心部の内丸に所在する盛岡藩南部氏の居城跡である。本丸、二ノ丸、三ノ丸などで構成される連郭式縄張の内曲輪（御城内）を要とし、その外側に外曲輪、遠曲輪を配置した梯郭式の城郭である。主要曲輪は総石垣造りとなっている。築城から400年以上経過し、石垣は城内各所で孕みや陥没が認められ、一部では崩落の危険性もあげられる。

当市では、平成24年に策定した「史跡盛岡城跡整備基本計画」に基づき、石垣の解体修理をはじめとする保存整備計画を計画し、これに係る事前調査を平成25年度から実施している。第37次調査は三ノ丸北西石垣を、第38次調査は台所門枳形周辺を調査対象とした。

三ノ丸北西石垣においては、宝永2（1705）年の積みなおしの際に設置された根固石が検出されたが、全面にわたっておらず、場所を選定して設置していた可能性が窺える。また、瓦門北側石垣において、建物跡は確認されなかったが、絵図面や天端石に残された痕跡から、石垣の端に建物が掛かる構造であったと推測される。

台所門枳形地点からは、石垣栗石と土塁が検出され、両者の位置関係から、台所門枳形石垣の範囲が想定される結果となった。



第37・38次調査区 位置図



第37次調査 三ノ丸石垣



第38次調査 台所門枳形

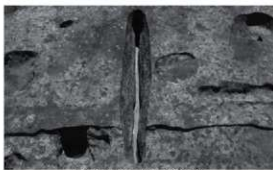
## ○公共事業関連

### (1) 細谷地遺跡 第37次調査

- |        |                   |        |                                    |
|--------|-------------------|--------|------------------------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市向中野字細谷地 21-1 外 | 2 調査原因 | 道明地区土地区画整理事業                       |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査      | 4 調査期間 | 平成29年5月29日～8月31日,<br>11月22日～12月20日 |
| 5 調査面積 | 4,692㎡            | 6 調査員  | 花井 正香・及川 果里                        |
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑8基, 古代の溝跡1条, 古代以降の土坑2基, 溝跡6条, 時期不詳のピット38口, 旧河道, 沢状地形
- 8 出土遺物 縄文時代の剥片, 古代の土師器・須恵器・あかやき土器, 鉄製品, 近世の古銭(寛永通宝), 近代以降の陶磁器, 土製品, ガラス瓶 コンテナ約15箱
- 9 調査概要 本遺跡は, 北上川西岸と雫石川南岸に広がる低位沖積段丘の南端縁部に立地し, これまでに奈良・平安時代の堅穴建物跡が230棟以上確認された大規模集落跡である。今次調査では, 縄文時代の陥し穴状土坑群, 古代の溝跡等の遺構と, 土師器・須恵器等の遺物を検出した。陥し穴状土坑群は, 低地と沢の間に密集して分布しており, 水辺に来る動物の捕獲を想起させるものである。



第37次調査区 位置図



第37次調査 陥し穴状土坑

### (2) 岩洞湖E遺跡 第2次調査

- |        |              |        |                                 |
|--------|--------------|--------|---------------------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市藪川字亀橋地内   | 2 調査原因 | 市道一の渡岩洞湖線改良工事                   |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成29年6月27日・7月18日～<br>7月20日・8月2日 |
| 5 調査面積 | 108㎡         | 6 調査員  | 佐々木 亮二・鈴木 俊輝                    |
- 7 検出遺構 近世の溝跡1条
- 8 出土遺物 なし
- 9 調査概要 岩洞湖遺跡群は, 岩洞湖畔に点在する遺跡群で, このうち本遺跡は, 岩洞湖北西部に位置している。今次調査では, 近世の野田街道の側溝跡と推測される溝跡1条が検出された。



第2次調査区 位置図



第2次調査区 全景

しもながばやし  
(3) 下永林遺跡 第4次調査

- |        |                |        |                  |
|--------|----------------|--------|------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市津志田14地割1-6外 | 2 調査原因 | 都南中央第三地区土地区画整理事業 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査   | 4 調査期間 | 平成29年9月1日～11月24日 |
| 5 調査面積 | 1,196㎡         | 6 調査員  | 花井 正香・及川 梨里      |
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑1基、奈良・平安時代の円形周溝9基、古代の土坑2基、古代以降の溝跡1条、時期不詳のピット37口
- 8 出土遺物 奈良・平安時代の土師器・須恵器・あかやき土器、鉄製品、ガラス小玉 コンテナ5箱
- 9 調査概要 本遺跡は、大道西古墳とも称され、昭和初期に蔵手刀が出土したことで知られている。今次調査では、縄文時代の陥し穴状土坑、奈良・平安時代の円形周溝等の遺構が確認された。検出された円形周溝のうち1基は、径7m弱の規模を呈し、2箇所に開口部を有していた。埋土下層から赤色顔料が出土しており、埋葬儀礼との関連性が窺えるものである。



第4次調査区 位置図



第4次調査 円形周溝

おおやち  
(4) 大谷地遺跡 第2次調査

- |        |              |        |                    |
|--------|--------------|--------|--------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市玉山字大二子地内  | 2 調査原因 | 市道二子沢線改良工事         |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成29年10月3日～11月7日   |
| 5 調査面積 | 218㎡         | 6 調査員  | 佐々木 亮二・鈴木 俊輝・今松 佑太 |
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑1基、土坑1基、遺物包含層
- 8 出土遺物 縄文土器、石器 コンテナ約3箱
- 9 調査概要 本遺跡は、二子沢西岸に広がる丘陵の東側裾部の崖錐性緩斜面に立地する。今次調査の結果、縄文時代の陥し穴状土坑等の遺構が検出された。また、遺物包含層からは、縄文早期末～前期初頭の土器、石器が出土した。なお、本調査については、別途正式報告済（『大谷地遺跡—市道二子沢線改良工事に伴う緊急発掘調査報告書—』2018年3月）である。



第2次調査区 位置図



第2次調査区 全景

(5) 向中野幅遺跡 第2次調査

- |        |              |        |                   |
|--------|--------------|--------|-------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市向中野字幅地内   | 2 調査原因 | (仮称)盛岡学校給食センター建設  |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成29年11月1日～11月30日 |
| 5 調査面積 | 744㎡         | 6 調査員  | 神原 雄一郎・今松 佑太      |
- 7 検出遺構 近・現代の堤跡  
8 出土遺物 縄文時代早期の土器片、石器、近世の陶磁器片  
9 調査概要 本遺跡は、「道明堤」と呼称された近世の水利施設が著名な遺跡である。今次調査の結果、これまで「道明堤」とされてきた土盛りは、大正時代以降に構築されたものであることが判明した。また、河道沿いの微高地から縄文時代早期末葉の土器・石器が検出された。なお、本調査については、別途正式報告の予定（平成31年3月刊行予定である。）



第2次調査区 位置図

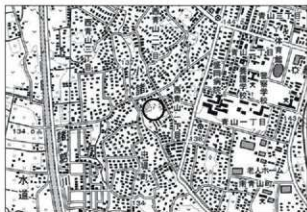


第2次調査 遺物出土状況

○個人住宅建築関連

(1) 赤袋遺跡 第5次調査

- |        |              |        |             |
|--------|--------------|--------|-------------|
| 1 調査地  | 盛岡市西青山一丁目21  | 2 調査原因 | 個人住宅建築      |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成29年6月28日  |
| 5 調査面積 | 94㎡          | 6 調査員  | 室野 秀文・鈴木 俊輝 |
- 7 検出遺構 時期不詳の土坑3基  
8 出土遺物 なし  
9 調査概要 本遺跡は、盛岡市北西部から滝沢市にかけて広がる滝沢台地の南西側の緩斜面上に立地している。過去の調査では、平安時代後期に帰属する土器焼成遺構等の遺構と、小皿、高台付坏等の遺物が確認されている。今次調査では、時期不詳の土坑3基が検出された。



第5次調査区 位置図



第5次調査 土坑

## ○民間開発関連

### (1) 台太郎遺跡 第90次調査

- |        |                |        |                  |
|--------|----------------|--------|------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市向中野二丁目3-7   | 2 調査原因 | 賃貸住宅建築           |
| 3 調査方法 | 地盤改良施工範囲全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成29年4月10日～4月21日 |
| 5 調査面積 | 33㎡            | 6 調査員  | 津嶋 知弘            |
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴建物跡1棟  
8 出土遺物 平安時代の土師器・須恵器・あかやき土器 コンテナ約1箱  
9 調査概要 本遺跡は、雫石川南岸に広がる沖積段丘上に立地している。これまでの調査で、奈良・平安時代の竪穴建物跡が700棟以上確認されており、盛岡市内では最大規模の古代集落跡である。

今次調査地点は、遺跡北部中央に位置しており、調査の結果、平安時代の竪穴建物跡が確認された。なお、本調査については、別途正式報告済（『台太郎遺跡－賃貸住宅建築に伴う緊急発掘調査報告書－』2017年6月）である。



第90次調査区 位置図



第90次調査 竪穴建物跡

### (2) 西鹿渡遺跡 第31次調査

- |        |                  |        |                   |
|--------|------------------|--------|-------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市三本柳2地割26-3の一部 | 2 調査原因 | 宅地造成              |
| 3 調査方法 | 試掘トレンチによる遺構確認調査  | 4 調査期間 | 平成29年4月11日        |
| 5 調査面積 | 240㎡             | 6 調査員  | 鈴木 俊輝・今松 佑太・及川 栞里 |
- 7 検出遺構 奈良・平安時代の竪穴建物跡1棟、古代以降の溝跡1条  
8 出土遺物 奈良・平安時代の土師器片  
9 調査概要 本遺跡は、北上川西岸に広がる低位沖積段丘上に立地している。今次調査は、宅地造成に係る試掘調査で、奈良・平安時代の竪穴建物跡等の遺構が検出された。（設計変更により現状保存措置）



第31次調査区 位置図

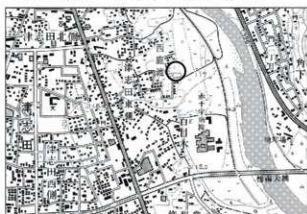


第31次調査 竪穴建物跡検出状況

(3) <sup>にしきぞ</sup>西鹿渡遺跡 第32次調査

- |        |               |        |                  |
|--------|---------------|--------|------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市三本柳2地割33-2 | 2 調査原因 | 宅地造成             |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査  | 4 調査期間 | 平成29年5月15日～7月28日 |
| 5 調査面積 | 1,624㎡        | 6 調査員  | 菊地 幸裕・今松 佑太      |

- 7 検出遺構 奈良時代の竪穴建物跡7棟、平安時代の竪穴建物跡1棟  
8 出土遺物 奈良・平安時代の土師器・須恵器・あかやき土器 コンテナ約6箱  
9 調査概要 今次調査地点は、遺跡東端のほぼ中央部に位置している。調査の結果、奈良時代の竪穴建物跡7棟と平安時代の竪穴建物跡1棟が検出され、土師器、須恵器、あかやき土器等の遺物が出土した。なお、本調査については、別途正式報告済（『西鹿渡遺跡―「M Stage 三本柳」宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書―』2018年3月）である。



第32次調査区 位置図



第32次調査 竪穴建物跡

(4) <sup>きたて</sup>里館遺跡 第62次調査

- |        |                 |        |            |
|--------|-----------------|--------|------------|
| 1 調査地  | 盛岡市北天昌寺町13-1の一部 | 2 調査原因 | 共同住宅建築     |
| 3 調査方法 | 試掘トレンチによる遺構確認調査 | 4 調査期間 | 平成29年5月26日 |
| 5 調査面積 | 83㎡             | 6 調査員  | 室野 秀文      |

- 7 検出遺構 中世～近世の竪穴建物跡6棟、土坑5基、溝跡2条、カマド状遺構1基、柱穴16口  
8 出土遺物 なし  
9 調査概要 本遺跡は、雫石川北岸の段丘上に立地している、中世城館跡を主体とする遺跡である。今次調査は、共同住宅建築に係る試掘調査として実施し、中世～近世の竪穴建物跡等の遺構が確認された。（設計変更により現状保存措置）



第62次調査区 位置図



第62次調査 全景



山陰焼窯跡 第2次調査

- |        |                 |        |                  |
|--------|-----------------|--------|------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市茶畑一丁目2-12    | 2 調査原因 | 介護施設建設           |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認及び精査 | 4 調査期間 | 平成29年7月12日～7月14日 |
| 5 調査面積 | 28㎡             | 6 調査員  | 神原 雄一郎           |

7 検出遺構 室町時代の大溝跡1条、江戸時代の大溝跡1基

8 出土遺物 室町時代の青磁片、江戸時代の陶磁器、窯道具 コンテナ約10箱

9 調査概要 本遺跡は、江戸時代後期に操業された盛岡藩の陶磁器窯業遺跡である。今次調査では、室町時代の城館「中野館」に帰属すると思われる大溝跡と、山陰焼の素焼き窯跡が検出され、大溝跡埋土内から山陰焼の陶磁器及び窯道具が多量に出土した。山陰焼の操業の様相が窺える知見となっている。なお、本調査については、別途正式報告の予定（平成31年3月刊行予定）である。



第2次調査区 位置図



第2次調査 素焼き窯跡検出状況

盛岡城遠曲輪跡 第19次調査

- |        |                   |        |            |
|--------|-------------------|--------|------------|
| 1 調査地  | 盛岡市本町通一丁目410-1の一部 | 2 調査原因 | 共同住宅建築     |
| 3 調査方法 | 試掘トレンチによる遺構確認調査   | 4 調査期間 | 平成29年7月19日 |
| 5 調査面積 | 61㎡               | 6 調査員  | 室野 秀文      |

7 検出遺構 近世の堀跡1条

8 出土遺物 近世の国産青磁水盤片

9 調査概要 盛岡城遠曲輪は、盛岡城を外周する外堀で囲まれた区域で、現在の本町通、中央通一丁目、神明町、肴町、南大通二丁目辺りに及ぶ。今次調査区は、その北辺東寄りに位置している。調査の結果、東西に走る堀の南側部分が確認され、埋土内から国産の青磁水盤片が出土している。（遺構保護層確保により現状保存措置）



第19次調査区 位置図



第19次調査 全景

# 報告書抄録

ふりがな		もりおかしいせきのまなびかん へいせい29ねんど かんぽう						
書名		盛岡市遺跡の学び館 平成29年度館報						
編集者名		多田 秀明・室野 秀文・菊地 幸裕・津嶋 知弘・今野 公顕・花井 正香・佐々木 亮二・鈴木 俊輝						
編集機関		盛岡市遺跡の学び館						
所在地		〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1 電話 019-635-6600						
発行年月日		2019年3月20日						
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
盛岡城跡 (第37・38次)	岩手県盛岡市内丸 57-1	03201	LE16-0355	39°42'01"	141°09'00"	20170725 ～1220	471	保存整備事業に伴う事前調査
細谷地遺跡 (第37次)	岩手県盛岡市向中野 字細谷地 21-1 外	03201	LE26-0214	39°40'29"	141°08'30"	20170529 ～1220	4,692	土地区画整理事業
岩洞湖E遺跡 (第2次)	岩手県盛岡市数川字 亀橋地内	03201	KF60-0285	39°49'43"	141°20'03"	20170627 ～0802	108	市道改良工事
下永林遺跡 (第4次)	岩手県盛岡市津志田 14地割16外	03201	LE227-2054	39°39'16"	141°09'43"	20170901 ～1124	1,196	土地区画整理事業
大谷地遺跡 (第2次)	岩手県盛岡市玉山字 火子地内	03201	KE67-0354	39°50'05"	141°11'54"	20171003 ～1107	218	市道改良工事
向中野幅遺跡 (第2次)	岩手県盛岡市向中野 幅地内	03201	LE26-0371	39°40'19"	141°08'45"	20171101 ～1130	744	学校給食センター建設
赤裳遺跡 (第5次)	岩手県盛岡市西青山 一丁目21	03201	LE05-0397	39°43'20"	141°06'26"	20170628	94	個人住宅建築
台太郎遺跡 (第90次)	岩手県盛岡市向中野 二丁目3-7	03201	LE16-2269	39°40'53"	141°08'18"	20170410 ～0421	33	賃貸住宅建築
西鹿渡遺跡 (第31次)	岩手県盛岡市三本柳2 地割26-3の一部	03201	LE27-1046	39°39'52"	141°09'47"	20170411	240	宅地造成
西鹿渡遺跡 (第32次)	岩手県盛岡市三本柳2 地割33-2	03201	LE27-1046	39°39'52"	141°09'47"	20170515 ～0728	1,624	宅地造成
里館遺跡 (第62次)	岩手県盛岡市北大昌 寺町13-1の一部	03201	LE06-2027	39°42'43"	141°07'15"	20170526	83	共同住宅建築
山陰焼窯跡 (第2次)	岩手県盛岡市茶畑一 丁目2-12	03201	LF17-1026	39°41'38"	141°09'48"	20170712 ～0714	28	介護施設建設
盛岡城遠曲輪跡 (第19次)	岩手県盛岡市本町通 一丁目410-1の一部	03201	LE06-2389	39°42'14"	141°09'08"	20170719	61	共同住宅建築
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
盛岡城跡 (第37・38次)	城跡跡	近世	三ノ丸石垣天端石・根石・根固石 台所門枳形石垣・土橋・土塁		瓦、陶磁器 コンテナ 30箱		台所門枳形石垣の範囲を推定	
細谷地遺跡 (第37次)	集落跡	縄文 古代	陥し穴状土坑 8基 溝跡 1条		土師器・須恵器・あかやき 土器 コンテナ 15箱			
岩洞湖E遺跡 (第2次)	散布地	近世	溝跡 1条				野田街道の側溝跡を検出	
下永林遺跡 (第4次)	散布地	縄文 奈良・平安	土坑 1基 円形埋溝 9基		土師器・須恵器・あかやき 土器 コンテナ 5箱			
大谷地遺跡 (第2次)	散布地	縄文	陥し穴状土坑 1基、土坑 1基		縄文土器・石器 コンテナ 3箱		縄文早期末～前期初頭の土器・石器が出土	
向中野幅遺跡 (第2次)	集落跡	近・現代	礎跡		縄文早期の土器・石器			
赤裳遺跡 (第5次)	散布地		土坑 3基					
台太郎遺跡 (第90次)	集落跡	平安	竪穴建物跡 1棟		土師器・須恵器・あかやき 土器 コンテナ 1箱			
西鹿渡遺跡 (第31次)	集落跡	奈良・平安	竪穴建物跡 1棟、溝跡		土師器片			
西鹿渡遺跡 (第32次)	集落跡	奈良・平安	竪穴建物跡 8棟		土師器・須恵器・あかやき 土器 コンテナ 6箱			
里館遺跡 (第62次)	城跡跡	中・近世	竪穴建物跡 6棟、土坑 5基、溝跡 2条、 カマド状遺構 1基					
山陰焼窯跡 (第2次)	窯跡	中世 近世	大溝跡 1条 焼窯 1基		近世陶磁器・窯道具 コンテナ 10箱		山陰焼の素焼窯跡を確認	
盛岡城遠曲輪跡 (第19次)	城跡跡	近世	堀跡 1条		近世国産青磁片			

---

## 盛岡市遺跡の学び館 平成 29 年度 館報

平成 31 年 3 月 20 日 発行

発行 盛岡市遺跡の学び館

〒 020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1

電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605

e-mail [iseki@city.morioka.iwate.jp](mailto:iseki@city.morioka.iwate.jp)

URL <http://www.city.morioka.iwate.jp/moriokagaido/rekishi/manabikan/index.html>

印刷 永代印刷 株式会社

〒 020-0857 岩手県盛岡市北飯岡一丁目 8-30

電話 019-636-0011 FAX 019-636-0099

---



盛岡市 **遺跡の学び館**